

慶應義塾全体の実験動物の飼養保管状況等

1. 年度ごとに実験動物の種類と飼養数（全塾）

動物種	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
	飼養数	飼養数	飼養数	飼養数	飼養数
マウス	40,000	40,900	37,100	35,000	33,000
ラット	340	320	530	520	890
ウサギ	22	20	11	15	12
モルモット	0	0	0	3	0
スナネズミ	0	0	0	0	80
イヌ	0	0	0	0	0
ブタ	10	10	11	9	6
マーモセット	12	12	11	12	20
ハムスター	200	200	74	0	0
ニワトリ	0	0	0	0	0
ウズラ	0	0	10	20	0
その他トリ類	186	141	155	115	99
アフリカツメカエル	0	0	0	0	6

（毎年度10月1日 現在）

2. 年度ごとの承認された動物実験計画数（1年ごとの更新；全塾）

動物実験計画数	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
		380件	225件	259件	316件

3. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数（5年ごとの更新；全塾）

教育訓練受講者数	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
		552	468人	500人	570人

4. 実験動物飼養保管施設（総数：67施設）

医学部動物実験センター、薬学部芝共立実験動物施設、他63施設

5. 動物実験委員会（計8名）

- （ア）動物実験等に関して優れた識見を有する者：5名（医学部細胞組織学、
医学部生理学、薬学部薬学科、理工学部生命情報学科、文学部人文社会学科）
- （イ）実験動物に関して優れた識見を有する者：2名（医学部動物実験センター、
他大学の教員）
- （ウ）その他学識経験を有する者：1名（外部の学識経験者）